

Asociación de Profesores de Japonés en España ニュースレター 第11号

©スペイン日本語教師会 2015年6月発行
編集 加藤さやか

CONTENTS

1-2
APJE 第六回総会
2014年度活動報告
APJE プロジェクト報告

2-5
APJE で学ぼう！
参加者ルポ①
窪田まどか
参加者ルポ②
安野彩
参加者ルポ③
大内真琴
参加者アンケートの声

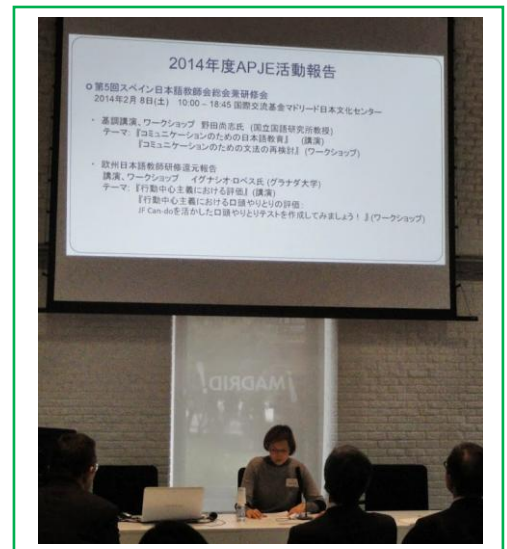
6
APJE2015年度 今後の活動予定

7
JFMD 新所長よりご挨拶
吉田昌志

APJE 第六回総会が開催されました！

本年 2015年2月7日スペイン日本語教師会(以下、APJE)の第六回総会兼研修会がマドリードの Eugenio Triás 公立図書館で開催され、新入会者を含む 53名が参加しました。開会式では、在スペイン日本国大使館より森下敬一郎公使、そして国際交流基金マドリード文化センター(以下、JFMD)より上野宏之所長のご出席を賜り、昨年度の APJE の活動を振り返り、スペインにおける日本語教育発展のための取り組みを高く評価するお言葉を頂きました。野崎美香 APJE 会長からは、昨年度一年間の活動報告のほか(詳細は次ページ)、今年度に入って新たに9名の入会者があったこと、日西交流 400周年記念にあたり、事業企画・実施における貢献を認められて大使館より感謝状を贈られたことなどの報告があり、APJE のますますの成長振りが伝えられました。

その後 APJE の各種プロジェクトについて各担当者からの報告(次ページ参照)、年度会計報告、そして会員資格に関する規約の一部改定についての出席者の承認に続き、JFMD の活動報告をもって閉会のはこびとなりました。

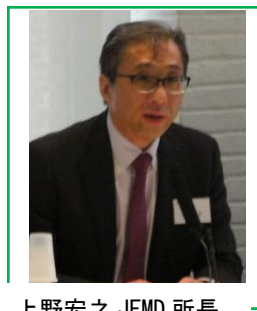


野崎美香会長より活動報告

夜には毎年恒例の懇親会。昨年新しく就任された越川和彦特命全権大使のご厚意で、大使公邸へと移動し、年に一度の親睦を深めるにぎやかな夕食会となりました。



森下敬一郎公使



上野宏之 JFMD 所長



毎年恒例懇親会は、越川大使のお招きで大使公邸にて

・・・総会で発表された **APJE2014** 年度活動およびプロジェクト報告

APJE2014 年度活動報告

2 月

・第 5 回総会兼研修会(基調講演 野田尚志氏「コミュニケーションのための日本語教育」)

4 月

・第 16 回研修会
「過去と現在と未来の『教師としての私』を繋げる-教師ポートフォリオ作成ワークショップ-」(講師 近藤裕美子氏)

6 月

・第 17 回研修会
「「わかる」から「できる」へ繋ぐ日本語指導とは-第二言語習得研究からシャドーイングの実践研究へ-」「楽しく学べる漢字学習とは-『漢字たまご』を使って-」(講師 迫田久美子氏、嶋田和子氏)
・第一回スペイン日本語劇コンクール

9 月

・講習会
「『日本語音声教育のためのオンラインアクセント辞書』の使い方」(講師 中川千恵子氏)

10 月

・第 18 回研修会
「漢字の運用能力を高める練習を考えてみよう」(講師 隈井正三氏)

APJE プロジェクト報告(報告者氏名)

- 第 1 回スペイン日本語劇コンクール開催(鈴木裕子)
- APJE 火曜日勉強会(松本幸)
- APJE-JFMD 共同プロジェクト『まるごと日本のことばと文化』文法解説書執筆および発行(宮島知)
- APJE ウェブサイトリニューアル(高橋水無子)

・・・APJE の活動・イベントについて詳しくは、リニューアルされた **web サイト ape.es** でもご覧いただけます!!



APJE で学ぼう！ 参加者ルポ① 窪田まどかさん(マドリッド)
2 月 7 日研修会 基調講演 山内博之氏
「コミュニケーション能力を向上させるための語彙指導」

2月7日に開催された APJE 総会では、「コミュニケーション能力を向上させるための語彙指導」というテーマで、実践女子大学山内博之教授による基調講演が行われました。

この講演では、はじめに午後のワークショップに備えて、山内教授ご自身が2013年に出版された『実践日本語教育スタンダード』(ひつじ書房)第1章の内容を紹介されました。

次に「語彙から見る日本語教育の全体像」として、縦に具体度(%)が高い順



基調講演講師 山内博之教授



基調講演に真剣に聞き入る参加者たち

に上から a~d、横に親密度・必要度 (%) の高い順に左から I ~ III に表示した、話題の難易度一覧を紹介され、そのリストの左上にくる「食」のような具体度、親密度・必要度の高い話題の方がより簡単で、「株」のような具体度、親密度・必要度の低い方が話題として難しいとの説明をされ、「日本語教育の全体像は食にはじまり株に終わる」「日本語教育に重要なのは Can-Do ではなく話題」とのことでした。

最後に、江戸時代の寺子屋のような

【教師の時代】(個別化)から、『みんなの日本語』の【教科書の時代】(標準化)を経て、今は学習者に合わせて教材をつくる【スタンダードの時代】(標準化された個別化)であると締めくくられました。

講演会のあとに山内教授に伺ったのですが、経済学の博士課程の時に日本語教師のアルバイトをされ、経済学よりも日本語教育の方により興味を持たれて進路を変えられたとのこと。講演の内容や『実践日本語教育スタンダード』の執筆にかけられた時間と労力からも、山内先生の日本語教育に関する熱意が感じられ、私も今後はもっと生徒に合わせた教材づくりをしていきたい…とよい刺激をいただきました。

APJE で学ぼう！ 参加者ルポ② 安野彩さん(ナバラ) 2月7日ワークショップ「コミュニケーション能力を 向上させるための語彙指導」

ワークショップでは山内先生の『実践日本語教育スタンダード』(ひつじ書房)を使いながらグループで課題に取り組みました。以下の3つの課題の中から、ひとつを選び、教材を作り上げるというものです。課題1は、使用させたい動詞を決め、その動詞と共起する名詞をおぼえさせる教材。課題2は、タスク先行型のロールプレイ教材。課題3はロールプレイ教材のシラバスの作成。所属する機関(公的機関、大学の語学センター、私立語学学



午前の基調講演につづき、午後は研修ワークショップ

校、個人授業、など)によって9つのグループ(各5-7名程)に分けられました。今後、実際の授業にも導入し易いようにという配慮からでした。

ワークショップは和気藹々と、時に山内先生に助言を頂きながら進みました。結果、課題1と課題2に取り組んだグルー



グループに分かれて課題に取り組む。みんな一生懸命

ブが多く、山内先生も課題1で授業できる自信が湧いたと感想を述べられました。実際例として、課題1では動詞一習う、壊れる、行く、等。課題2では、「ごめんなさい」(借りたものを壊してしまう)、「気になるあの子」(日本人留学生をデートに誘う)といった、グッと引き込まれるようなロールプレイの例がありました。

最後に山内先生から、「どのグループも結構いいですよ。おもしろい例も多く、実際にこれだけの教材ができるのは、皆様の能力だと思います。これで終わるのがもったいない。」とのお言葉を頂きました。

私は今回が初めての参加でしたが、会員の皆さんやJFMDの方々のサポートで常にリラックスした、楽しい雰囲気の中で過ごせました。皆さん気さくで、気後れすることなく、研修会や懇親会にも参加することができました。こういった学びの機会、交流の場があることを大変ありがたいと思います。



グループワークのあとは成果を発表して全体で共有

APJE で学ぼう！ 参加者ルポ③ 大内真琴さん(マラガ) 2月7日欧州日本語教師研修還元ワークショップ



毎年恒例、欧州日本語教師研修に参加した APJE 会員による還元報告とワークショップ。
今年はお島氏(右)と加藤氏

欧州日本語教師研修の報告～ワークショップの部では、2014年7月7日～11日にアルザスで開催された研修に参加なさった加藤さやか先生と小島妙子先生から貴重なお話を聞くことができました。

テーマは「まるごと」。概要や各トピックの説明から「まるごと」を使っての実践的な授業まで、中身の濃い充実した内容だったことが先生方のお話から伺えました。

まず、「まるごと：かつどう」について小島先生より説明がありました。

「かつどう」は「話す」「聞く」を重視した学習を目的としています。

今回は第3課の「たべもの」の授業風景を小島先生に再現していただきました。

まず「何が好きですか」から始まるこの課では、助詞「が」も登場します。が、文法的説明はここでは必要最小限に留めています。

また「たべもの」に関する語彙だけに絞り、肉、魚、野菜・・・など、絵を見ながら学習者に問いかけます。

範囲を広めず、テーマや語彙を絞り込

むことで学習者の目的意識もそれだけ明確になります。

次に加藤先生より「まるごと：りかい」についてのお話がありました。

りかい編の目標、流れ、そして副教材やオンラインソースの紹介があり、そのまとめとして

「従来の教科書と比べて『まるごと：りかい』の特徴を書く」というタスク活動がありました。

主に挙げたのは

- ・ 絵や写真が多く、カラーも多いので学習者も楽しんで勉強できる
- ・ 教師の文法的説明が少ない
- ・ 教師が先に答えを言わないなど、生徒に考えさせる機会を与える
- ・ あまり範囲を広げず、トピック内に関連した語彙に限定している



グループになって意見を交換

などでした。

「まるごと」は従来の教科書と比べて、目で見て楽しめると共に日常生活の中で応用できそうなテーマが多く取り入れられ、また、学習者の構想を広げるお手伝いもしている、学習者主体の教科書になっているなあという感想を抱きました。

次回 2015 年度の研修のテーマは「まるごと A2」だそうです。JFMD の隈井先生はもちろん、小島先生も加藤先生も、「アルザス研修はとても勉強になるいい機会ですから、ぜひみなさんご応募を！」と強くおススメされていました。



APJE で学ぼう！ 参加者アンケートの声 4 月 27 日 研修会 「語劇を通して学べることは」

春の定期研修会は、昨年6月に開催された第一回スペイン日本語劇コンクールに、それぞれバレンシア大学とマドリード・コンプルテンセ大学から参加した馬場加恵氏と鈴木裕子氏を講師にお迎えしました。

語劇を通して学習者はどんなことを学べたか、教師はどのような指導を行ったか、といったご自身の体験や成果についてのご報告をもとに、日本語学習の視点から見た語劇の効果や、実際に授業でどのように取り入れるか、といった点について考え、参加者からも活発に意見が出されました。また、実際のコンクールの録画ビデオが上映されると、参加者みんな興味深く見入っていました。

終わりにには、来年度開催予定の第二回コンクールに向けての話し合いもたれ、

今後の具体的な取り組みへの第一歩となりました。

以下、終了後の参加者アンケートから、参加者の声をいくつかご紹介します。

- ・日本語教育と語劇の接点が具体的にわかるようになった。
- ・語劇(演劇)を使った日本語学習+αの手法や実施例を具体的に知ることができて参考になった。
- ・実際の語劇をビデオで見てすごくおもしろかった。脱帽。
- ・いつもの教材作りのワークショップではなく、みんなでアイデアを話す時間を共有できてよかった。
- ・少人数で和気あいあいと研修できてよかった。

……などなど。



APJE 2015 年度 今後の活動予定

➡ APJE 第 3 回シンポジウム サンティアゴ・デ・ コンポステーラ大会

日程 6 月 28(金)・29 日(土)
会場 サンティアゴ・デ・コンポステーラ大
学言語学部
基調講演
講師 村上吉文氏(国際交流基金ブ
ダペスト日本文化センター 日本語ア
ドバイザー)



隔年開催されている APJE シンポジウムが、いよいよ来週末にせまってきました。今年の開催地は、サンティアゴ・デ・コンポステーラ。シンポジウムの内容はもちろんのこと、「小さな漁村で本場ガリシアのシーフード＆ワインを楽しむ」オプションルツアーなどガリシアならではの企画もあり、充実した二日間になること間違いなしです。みなさん、サンティアゴ・デ・コンポステーラでお会いしましょう！

➡ APJE 定期勉強会開催中

毎週火曜日 11:00-12:00 JFMD にて
(夏休み・年末年始を除く)

Facebook 開設しました！毎週火曜日勉強会で話されたこと、提供された情報などを発信しています。コメントや質問も歓迎です。APJE の HP (apje.es) から、「APJE 勉強会」をクリックしてください！

随時参加者募集中です。

途中参加・Skype による地方の先生方の参加も大歓迎。参加希望の方は、事前にapje_aprender@apje.es までユーザーIDをご連絡ください！

勉強会風景。

「毎週火曜日、参加お待ちしております！」



➡ APJEメルマガ部(仮称) 新設のため 協力者募集!!

APJE ではこのたび新しくメルマガ部(仮称)を作ろう、という計画が持ち上がっています。各研修会での講師の先生方へのインタビューや、スペイン各地の学習者の声など、タイムリーかつ学習現場に密着した活きのいい情報を発信していけたらと考えています。

まずは、今年度後半期(7月から12月頃まで)にご協力くださる方を募集します。「子どものころ壁新聞係だった」「実はブロガー」「文章書くのがけっこう好き」「APJE の活動を通してもっといろんな人と交流してみたい」といった方々、どうぞお力を貸してください!!

ご連絡は、APJE 書記担当の加藤

apje.info@gmail.com

まで。お待ちしております!!

ようこそ！！ JFMD 吉田昌志 新所長

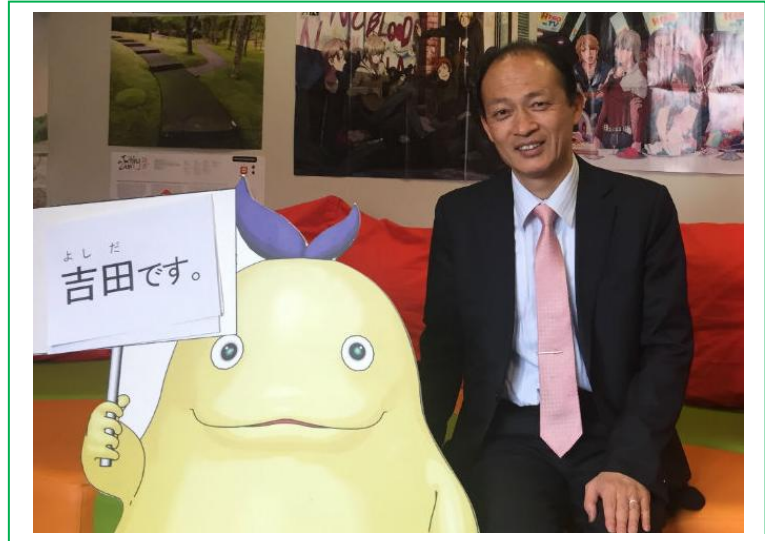
今年 3 月、APJE 設立以来ずっとスペインにおける日本語教育発展のために APJE とともに歩んできてくださった JFMD の初代所長上野宏之氏が任期を終えられ、代わって吉田昌志氏が新所長に就任されました。

「新しい所長はどんな方??」と興味津々の APJE 会員に向けて、吉田所長よりご挨拶を頂きました。

iHola! APJE のみなさん、はじめまして。

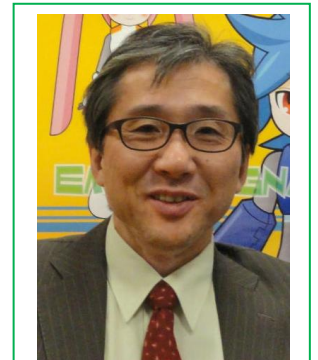
今年 3 月より国際交流基金マドリッド日本文化センターに所長として着任しました吉田昌志と申します。日本語教育は世界各地で盛り上がりを見せ、ここスペインにおいても熱心な学習者が増えていることは大変喜ばしいことだと思います。これも一重に APJE の先生方の努力の賜物だと心より感謝申し上げます。

この勢いにさらに弾みをつけ、みなさんとともにスペインでの日本語教育の発展に寄与してまいりたいと思います。Usted ではなく Tu(の感覚)で是非、気軽にお声掛けください。broma や chiste も、交



吉田所長、ようこそスペインへ！

え、たくさん語りあいましょう！わたしたちの言葉がこの国で、出会い、触れ合い、交流の懸け橋になることが、私にとっても強い願いです。これからどうぞよろしく願っています。



上野前所長、長い間お世話になりました！

今回は、総会後の研修・ワークショップに取り組む参加者のイキイキとした様子が伝わる写真がたくさんありましたので、いつもより写真を多めに入れてみました。当日撮影担当の江崎さん、松本さん、お疲れ様でした。また、参加者ルポの執筆にご協力くださった大内さん、窪田さん、安野さん、どうもありがとうございました！今年度に入ってから 17 名の新規入会者を数え、2015 年 6 月現在 APJE 全会員数は 121 名、ますます元気な APJE です。次はサンティアゴ・デ・コンポステーラでお会いしましょう！

(編集 加藤さやか)